

未来はどうなるか誰も知らない

もちろ 少し かじったが
何だか 起きたてで 食べにくい。

それで 朝食は 結局 取るのは やめ、
歯と顔を 常の様に ミガキあげ、

「ああ、やっと学校か」と 思いながら家を出る。

電車は満員、ギョウギョウ。

あの人は 見かけなかった。

それで 一日 気が重くなる。

三条京阪で、バスに乗り換える。
バス停にもいない。

学校につくと、頭には
陰気な始業式のこと。

満員電車に締めつけられ、
満員のバスで ゆすぶられ、学校に行く。

講杯の講堂では、整列して 立ったままで
訓話をいただく。いつものパターン。

ただ、教室で なじみの顔を 連続して
つぎつぎと 見る気持ちは、何とも言えない。

「また さわげる、友だちと」と思うと。
式は簡単にすぐ済んだ。